取扱説明書 (保証書付)

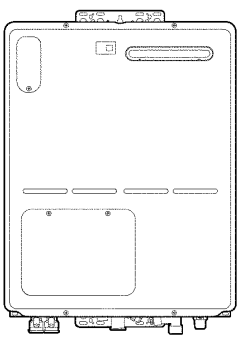
家庭用 BL認定品

暖房専用熱源機

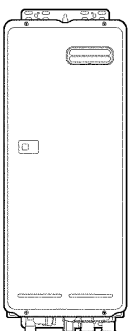
135-R920・R923型
135-R900・R903型
135-R910・9030型

大阪ガス

型名 RH-101WA2-1(A)・RH-101TA2-1(A)
RH-101WA2-1・RH-101TA2-1
RH-51W(A)・RH-51W



135-R920型
135-R900型



135-R910型
135-9030型

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスの暖房専用熱源機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

- ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- この取扱説明書には保証書が付いています。大切に保管してください。
- この製品は国内専用です。

もくじ

	ページ
●安全上のご注意	1
●各部のなまえ	5
●はじめてお使いのときは、まず	6
●暖房のしかた	7
●冬期の凍結による破損防止について	9
●長期間使用しない場合は	10
●点検・お手入れのしかた	11
●故障！とお考えになる前に	12
●故障・異常の見分け方と処置方法	13
●主な仕様	14
●アフターサービスについて	15
●保証書	裏表紙

H92-932×03(00)
08,06,(05)K

060 00012 56982 7

安全上のご注意

この機器を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。
これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。

表　示	意　味
⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる傷害、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

傷　害　：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などをさします。
物的損害　：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

絵表示については次のような意味があります。

一般的な危険 警告 注意　火災注意　一般的な禁止　触れないこと　ぬれ手禁止
分解禁止　必ず行うこと　電源プラグをコンセントから抜く　必ずアース線を接続する

⚠危険

屋内設置禁止

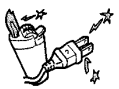
この機器は屋外用です。屋内や浴室内に設置して使用しないでください。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になり大変危険です。

ガス漏れに気付いたら

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。
②窓や戸を開けてガスを外に出す。
③もよりの大阪ガスに連絡する。

ガス漏れに気付いたら下記行為は厳禁

火を使ったり電源プラグの抜き差し禁止



電気器具（換気扇など）のスイッチの「入・切」禁止

ガスのにおいのする場所での電話の使用禁止

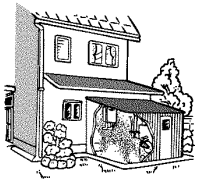
ガス漏れに気付いたときは、大阪ガスの係員による処置が終わるまで上記のことを行わないこと。
炎や火花で引火して爆発事故を起こすことがあります。

⚠警告

工事は資格必要

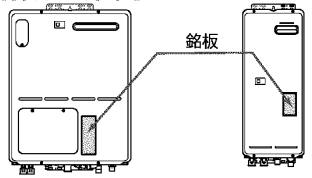
この機器の設置・移動・取はずしおよび付帯工事・ガス接続工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼してください。

囲い設置禁止



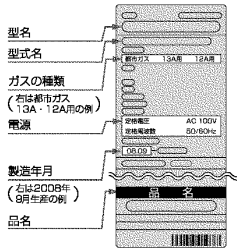
この機器は屋外用ですので、増改築などによって屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをすることもおやめください。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

機器の銘板を確認



使用する機器が使用するガスの種類（ガスグループ）および使用する電源（AC100V・50-60Hz共用）に適合していることを機器の銘板で確認してください。表示以外のガス種および電源を使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。

※下図は銘板の一例です。



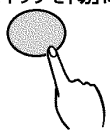
この機器はAC100V（50-60Hz）用です。
AC100V以外の電源電圧では使用できません。

機器の改造・分解は禁止

絶対に改造・分解は行わないでください。改造・分解は一酸化炭素中毒などのおそれがあります。また、火災の原因になります。

機器の異常に気付いたら

①放熱器・暖房機器の運転スイッチを「切」にする。



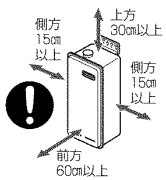
②ガス栓を閉める。

- 使用中に異常な臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、使用途中で消火する場合はただちに使用を中止してガス栓を閉め、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 地震や火災などの緊急の場合もただちに使用を中止し、ガス栓を閉めてください。

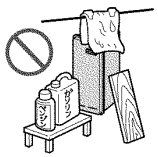
安全上のご注意

⚠警告

火災予防のために必ず守ること



- 機器周辺の可燃物とは常に右図の離隔距離を確保すること。
- 排気口が洗たく物などでおおわれないようにすること。
- 機器および排気口の周辺には、紙や木材などの燃えやすいものを置かないこと。
- 機器や給・排気口の周囲では、スプレー・ガソリン・ベンジンなどの引火の恐れのあるものを置いたり、使用したりしないこと。
- 機器の周囲や排気筒トップにスプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどを置かないこと。熱でスプレー缶内の圧力が上がり、爆発する恐れがあります。

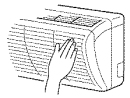


電気事故防止のために

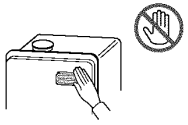
- 電源コードを切断して延長しない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災などの原因となります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。痛んだ電源プラグ・緩んだコンセントは使わないでください。
- 電源プラグのほこりなどは定期的に取る。電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 濡れた手でコンセントの抜き差しをしない。感電の原因になります。
- 電源コードを引っぱって電源プラグを抜かない。電源コードを引っぱると、破損して感電や火災の原因となります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

やけど防止のために必ず守ること

- 浴室暖房乾燥機その他の放熱器の温風口はさわらないでください。やけどの危険性があります。



使用中や使用直後は排気口やその周辺は高温になっています。やけど防止のため、絶対に手を触れないでください。

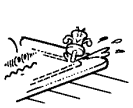


床暖房の破損防止のために

(詳細は床暖房リモコンの取扱説明書をご覧ください)

- 床暖房の上に電気カーペットをひかないでください。床材の割れ、そり、隙間の原因となります。

- 床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプ破損の原因となります。

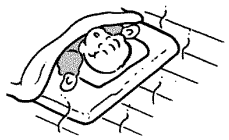


低温やけど防止のために

(詳細は床暖房リモコンの取扱説明書をご覧ください)
床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべったりしないでください。低温やけどを起こす心配があります。

特に次のような方が使用する場合は、回りの人が注意してあげることが必要です。

①乳幼児、お年寄り、病人など自分の意志で体を動かせない方
②疲労の激しいときやお酒や睡眠薬を飲まれた方
③皮膚や皮膚感覚の弱い方



⚠警告

用途について

暖房や乾燥以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因となります。

機器本体やガスの接続口・排気口などに乗らないこと。けがや、機器の変形によるガス漏れ・不完全燃焼の恐れがあります。

⚠注意

アースの確認

この機器にはアースが必要です。アースされていることを確認してください。

機器の破損防止のため必ず行うこと

冬期に水道水が凍結する恐れがある日は、9・10ページの方法で凍結予防を行ってください。

お願い

機器の設置状態についての確認

①機器は傾いて設置されていませんか？
②冷・暖房機や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は避けてありますか？
　正常な燃焼の妨げになることがあります。
③棚の下など落下物の危険はありませんか？
④メンテナンスができない場所に設置されていませんか？メンテナンスをお断りすることがあります。
⑤排気口への積雪や、屋根から落ちた雪で給・排気口が閉塞されることはありませんか？不完全燃焼の原因になります。
⑥暖房水を手動で補給する場合は機器上方の補給のための空間を考慮して設置してください。また、機器を設置する高さも補給作業を考慮して設置してください。

以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

別売部品はこの機器用のもの以外は使用しないでください。事故や故障の原因となります。

井戸水・地下水・温泉水の使用について

水質によっては本体内の配管内部に異物が付着し、故障することがあります。その場合は、保証期間内であっても修理は有料となります。

燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。また、燃焼中に電源プラグをコンセントから抜いて消火しないでください。

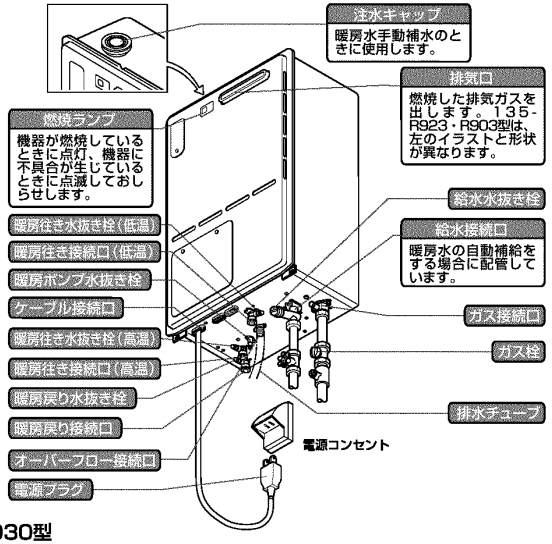
乾電池に関するご注意

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。
その際、乾電池を使用している機器は、乾電池を取りはずしてから正規の処置をしてください。
そのままにしておきますと、思わぬ事故になることがあります。

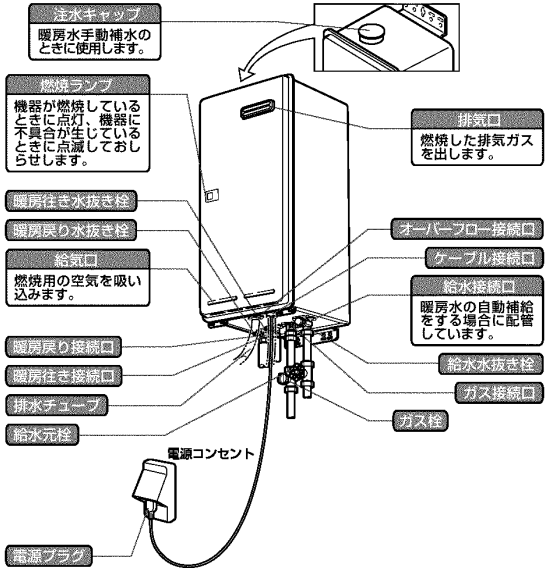
各部のなまえ

※下記イラストは施工例です。

■ 135-R920・R923・R900・R903型



■ 135-R910・9030型

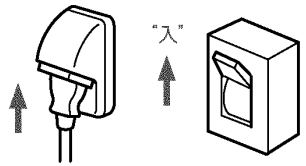


はじめてお使いのときは、まず…

1 電源プラグをコンセントに差し込みます。

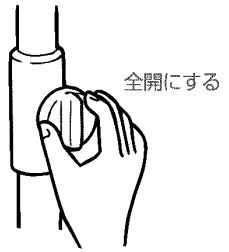
（分電盤の専用スイッチを「入」にしてください）

⚠警告 ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の恐れがあります。



機器付近の壁・分電盤

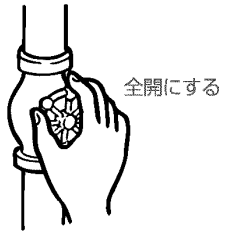
2 ガス栓を全開にします。



機 器 の 下 部

3

- 自動補水の場合は給水元栓を全開にします。
- 手動補水の場合は、8ページの“暖房水の手動補給について”に従って補水をしてください。



機 器 の 下 部

暖房のしかた

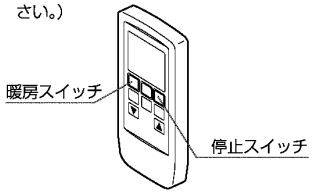
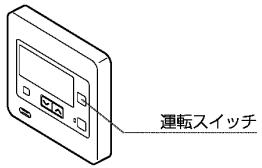
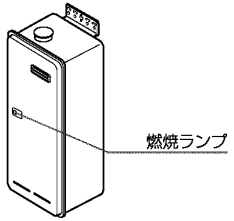
放熱器のリモコンや床暖房リモコンで操作します。

⚠警告

- パネルヒータの表面をさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。
- 放熱器の温風口にさわらないでください。やけどの危険性があります。
- 床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間、座ったり寝そべったりしないでください。低温やけどを起こす心配があります。特に次のような方が使用する場合は、回りの人が注意してあげることが必要です。
  - ・乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かせない方
  - ・疲労の激しいときやお酒や睡眠薬を飲まれた方
  - ・皮膚や皮膚感覚の弱い方

⚠注意

- 床暖房の上に電気カーペットをひかないでください。床材の割れ・そり・隙間の原因となります。
- カーペット式床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。

浴室暖房乾燥機の場合 （浴室暖房乾燥機の取扱説明書もご覧ください。）	床暖房リモコンの場合 （床暖房リモコンの取扱説明書もご覧ください。）	熱源機の動き
		
1. 浴室暖房乾燥機のリモコンの暖房スイッチを押して運転してください。	1. 床暖房リモコンの運転スイッチを押し、お好みの温度に調整します。	熱源機本体の燃焼ランプが点灯します。（温水温度を自動的に調節するため運転中でも燃焼が停止することがあります。）
2. 使い終わったら停止スイッチを押して運転を停止してください。	2. 使い終わったら運転スイッチを押して運転を停止してください。	熱源機本体の燃焼ランプが消灯します。

- エアコンやファンコンベクターなど、他の放熱器の場合も同様に運転スイッチを操作してください。（放熱器の取扱説明書もご覧ください）
- 点火しないときは、運転スイッチを一旦「切」にしてから再度「入」にしてください。

停電・断水・ガスの供給が停止したときは…

停電時……運転は停止します。

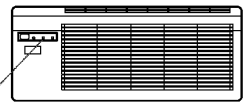
断水時……そのまま使用できますが、暖房水が不足していると安全装置が作動し暖房運転が停止します。暖房水自動補給で断水中に暖房運転が停止した場合は、再通水時に電源プラグを抜き差ししてください。
暖房水手動補給の場合に、暖房水の不足により暖房運転が停止した場合は、8ページの“暖房水の手動補給について”に従って補給をしてください。（電源プラグの抜き差しは必要ありません）

ガスの供給が停止したとき…運転は停止し、ガスの供給が再開されても運転しません。一旦浴室暖房乾燥機や床暖房リモコンの暖房スイッチ、運転スイッチを「切」にし、ガスの供給が再開された後、暖房スイッチ、運転スイッチを「入」にしてください。

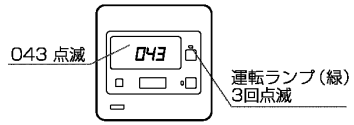
暖房水の手動補給について（自動補給の場合は不要です。）

浴室暖房乾燥機または床暖房リモコンのスイッチを入れても運転しない場合、または途中で運転が停止した場合は、暖房水が減っていますので、暖房水の補給をしてください。
（暖房水が減ると、熱源機本体でも燃焼ランプが3回点滅しておしらせします）
また、浴室暖房乾燥機や床暖房リモコンでは下記の表示で暖房水が減ったことをおしらせします。
（但し機種によっては表示が出ないものがあります。）

浴室暖房乾燥機の場合



床暖房リモコンの場合



- 不凍液使用の有無を確認してください。（9ページ参照）

不凍液を使用している場合　暖房水（不凍液）の補給についてはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。（有償です）

不凍液を使用していない場合　下記に従って暖房水を補給してください。

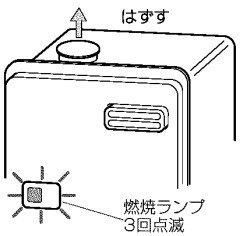
⚠注意

運転直後はタンク（暖房水）が高温になっていますので、やけど予防のため機器が冷えてから行ってください。

暖房水補給の前に

浴室暖房乾燥機および床暖房リモコンの運転スイッチを切る。

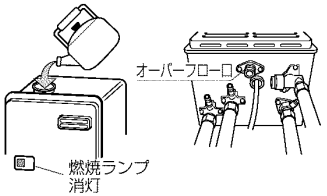
1 注水キャップをはずす



暖房水が高温になっていると蒸気が吹き出すことがありますので、冷えてからはずしてください。

2 水を入れる

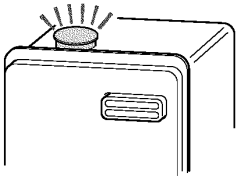
オーバーフロー口から水が出るまで、やかんなどで水を補給してください。
（暖房水を満タンにするため必ずオーバーフロー口から水が出るまで入れてください。）
燃焼ランプの3回点滅が消灯します。



必ず水道水を使用してください。
温泉水や地下水や井戸水を使用すると故障の原因になります。

3 注水キャップを取り付ける

手ごたえを感じるまでしっかりはめ込む。



- 暖房水の補給は4カ月に1回程度ですが、乾燥・暖房の使用時間により異なります。
- 水の減りかたが早かったり急に早くなった場合は、水漏れしている可能性があります。お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

冬期の凍結による破損防止について

●暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください。

⚠注意

- 冬期は暖かい地方でも配管中の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、冬期は電源プラグを抜かないでください。またガス栓も閉めないでください。
- 不凍液を使用せず長期不在などで電源を切る場合は《水抜き》を行ってください。
- 不凍液を入れる方法もあります。
- 給水配管や給水元栓の凍結予防は保温材を巻いたり、必要に応じて電気ヒータを巻くなどして別途対策してください。

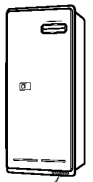
●この機器は、外気温が下がると自動的に燃焼運転を行って、凍結を予防します。
●電源プラグがコンセントに差し込んであることを確認してください。
●ガス栓・給水元栓が全開になっていることを確認してください。

●長期間使用しない場合は《水抜き》を行ってください。

《水抜き》の方法 （不凍液が入っている場合は不要です）

●不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く（分電盤の専用スイッチを『切』にする）ときは、この《水抜き》を行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときも、必ずこの《水抜き》を行ってください。
※暖房使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

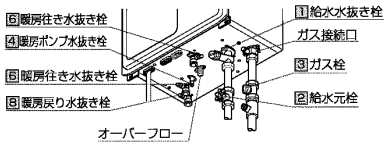
※不凍液注入の有無はフロントカバー右下に張ってあるラベルで分かります。



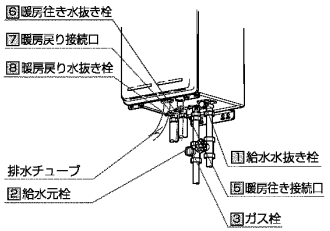
不凍液の確認
不凍液が入っている場合は、
不凍液が入っています
というラベルが張ってあります。

①ガス栓3を閉めてください。
②給水元栓2を閉めてください。
③水抜き栓1・6・8をすべて開けてください。次に135-R900・R903・R920・R923型の場合は、水抜き栓4も開けてください。
※このとき燃焼ランプが点滅することがありますが、異常ではありません。
④すべての水抜きが完了したら、電源プラグを抜いてください。（分電盤の専用スイッチを「切」にしてください）
（注）浴室暖房乾燥機や配管・バルブの凍結予防はできません。

135-R920・R923・R900・R903型



135-R910・9030型



《水抜き》をした機器を、次に使うときは…

①すべての水抜き栓を閉めてください。
②6ページの「はじめてお使いのときは、まず…」に従って熱源機本体の運転準備をしてください。
※・**暖房水自動補給の場合**は、暖房運転を行うと暖房水は自動的に補給されます。自動補水は約2分で止まりますので、放熱器が機器本体より高い位置にある場合や暖房配管の容積が大きい場合は、1回の補水では暖房運転ができないことがあります。この場合は電源プラグを抜き差ししてから再度暖房運転を行ってください。（暖房ができるようになるまでこれを繰り返してください）
・**暖房水手動補給の場合**は8ページの"暖房水の手動補給について"に従って、補給をしてください。

凍結したときの処置

●万が一凍結した場合は使用しないでください。
凍結したままお使いになると、機器本体や配管が破損することがあります。
●凍結が解けたあと、水漏れがないか確かめてから使用してください。
●機器本体や配管が破損すると、高額の修理費用がかかる場合があります。（有料）

長期間使用しない場合は

■旅行など長期間ご使用にならない場合は、次のことを行っておいてください。

1.ガス栓を閉めます。

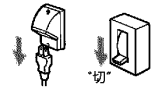
機器の下部

2.給水元栓を閉めます。

機器の下部

3.機器の水抜きをします。（9ページ参照）
水抜が終わったら開けた水抜き栓をすべて閉めてください。

4.電源プラグを抜きます。
（分電盤の専用スイッチを「切」にしてください）



⚠注意 ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の恐れがあります。

機器付近の壁・分電盤

点検・お手入れのしかた

点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

- 安全にお使いいただくために、こまめに点検・お手入れを行ってください。
- お手入れは、必ず●機器が冷めてから●ガス栓を閉め●電源プラグを抜き行ってください。
- フロントカバーなどは決してはずさないでください。

■点検…次のことにご注意ください。

- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？また、各部品とも正しくセットされていますか？
- 機器のまわりや排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？
- 暖房水の漏れはありませんか？
- 機器周辺からガスの臭いはしませんか？
- 機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなったときはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに張り替えてください。ラベルについては販売店にお問い合わせください。
- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年１回程度の定期点検をおすすめします。

※定期点検を受ける先が不明の場合や、点検費用などについてはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへお問い合わせください。

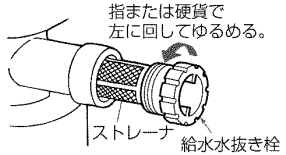
●不凍液の点検と交換(有料)
- 不凍液は1年に1回は濃度や汚れなどの点検を、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへ依頼してください。
- 不凍液の性能が低下していた場合は交換が必要です。交換のめやすは約2年に1回です。

※不凍液の性能が低下したまま使い続けると、凍結・破損・腐食の原因になります。

■お手入れ方法は

※機器が冷えていることを確認してから行ってください。

- **機器**の表面が汚れたときは、台所用中性洗剤(食器・野菜洗い用)を含ませた柔らかい布で汚れをふき取った後、水を含んだ布で軽くふき取ってください。台所用中性洗剤(食器・野菜洗い用)以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。
- 給水水抜き栓先端の**ストレーナ**にゴミなどが付いていると、暖房水が補給できなくなることがあります。こんなときは給水元栓を閉めてから給水水抜き栓をはずして、ストレーナに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあったときはご注意ください。(暖房水自動補給の場合)



※必ず給水元栓を閉めてから行ってください。

- **機器の給気口**(フロントカバーの穴)がほこりやゴミで詰まったまま使用すると、不完全燃焼などの原因となります。給気口のほこりやゴミを十分に取り除いてご使用ください。

故障！とお考えになる前に

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障ではない場合もあります。
修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

次のことを調べてください

こんなとき		ココをチェック
暖房運転ができない	故障表示が点滅する	ガス栓が全開になっていますか。
		給水元栓が全開になっていますか。(暖房水自動補給の場合)
		断水していませんか。(暖房水自動補給の場合)
		暖房水が不足していませんか。(暖房水手動補給の場合)
		運転スイッチを「切」にし、約3秒後、もう一度「入」にしてください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
	故障表示が点滅しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 停電していませんか。

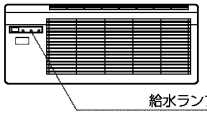
こんなときは故障ではありません

こんなとき	理　　由
寒い日排気口から白煙が出る	外気温が低いときには燃焼排ガス中の水蒸気が白煙に見えますが、故障ではありません。
冬期など寒いとき暖房ポンプが自動的に動く、または燃焼する	凍結による破損防止のため、凍結予防運転を行います。
ときどき(1カ月に一度)機器を使用していないのにポンプの回転音(ウーン)がする	暖房回路の空気抜きを行うため、約1カ月に一回暖房ポンプが自動的に回転します。異常ではありません。
暖房運転停止後、しばらくファンの回転音がする	暖房運転停止後もしばらく回転しています。
運転終了後もしばらくポンプが回る	運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。

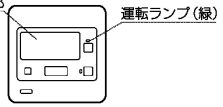
故障・異常の見分け方と処置方法

- 浴室暖房乾燥機の場合は給水ランプ(赤)が点滅または点灯します。
- 床暖房リモコンの場合は時計表示部に下記のような故障表示が点滅します。
(ただし、機種によっては出ないものもあります。)

浴室暖房乾燥機の場合



床暖房リモコンの場合



浴室暖房乾燥機(参考)	床暖房リモコン(参考)		135-9030型 135-R910型	135-R920・R923型 135-R900・R903型	内容
給水ランプ(赤)	運転ランプ(緑)	時計表示部	燃焼ランプ(赤)	燃焼ランプ(赤)	
点滅	点滅	113	点滅	点滅	暖房点火不良
			5回点滅	点滅	過熱防止装置、温度ヒューズ作動
点滅	点滅	163	6回点滅	点滅	部分凍結異常
点滅	点滅	173	1回点滅	点滅	暖房水微少漏れ
			1回点滅	点滅	2次回路の地絡
			−	点滅	低温感知サーミスタ異常
点滅	点滅	313	4回点滅	点滅	暖房高温サーミスタ異常
点滅	点滅	323	−	点滅	暖房低温サーミスタ異常
点滅	点滅	433	3回点滅	点滅	水位電極理論異常
点滅	点滅	523	2回点滅	点滅	ガス比例弁異常
点灯	点滅	543	2回点滅	点滅	暖房補給水異常
点滅	点滅	613	1回点滅	点滅	暖房燃焼ファン異常
			3回点滅	点滅	電装ユニット異常
点滅	点滅	723	2回点滅	点滅	暖房擬似炎検知
点滅	点滅	903	4回点滅	点滅	ファン初期チェック
点滅	点滅	993	5回点滅	点滅	暖房排気閉塞
点滅	点滅	123	点滅	点滅	暖房失火
	点滅	※※4	6回点滅	点滅	床暖房リモコンエラー
			6回点滅	点滅	浴室暖房乾燥機エラー
点灯	点滅	043	3回点滅	3回点滅	暖房水渇水エラー
			6回点滅	点滅	暖房寿命予告運転

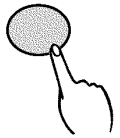
※※4は端末機の故障表示(※は任意の数字)を示します。

・端末機側に上記以外のエラーが表示した場合は各端末の取扱説明書をお読みください。

- 故障表示が出た場合は次の操作をしてください。

1. ガス栓と給水元栓が十分開けてあるか確認します。

2. すべての端末機の運転(暖房)スイッチを「切」にして、再び「入」にします。



3. 再び使用してみてください。

- 上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もおしらせください。

主な仕様

品名	135-9030型	135-R910型	135-R900型	135-R903型	135-R920型	135-R923型
型名	RH-51W	RH-51W(A)	RH-101WA2-1	RH-101TA2-1	RH-101WA2-1(A)	RH-101TA2-1(A)
型式名	RH-51W	RH-51W(A)	RH-101WA2	RH-101TA2	RH-101WA2(A)	RH-101TA2(A)
設置方式	屋外壁掛設置					
外形寸法(mm)	幅250×奥行200×高さ610		幅470×奥行220×高さ600			
質量(kg)	14		22			
点火方式	AC100V連続放電式(ダイレクト点火)					
接続 ガス	15A(R1/2)オネジ					
接続 給水	15A(R1/2)オネジ					
接続 暖房(往き・戻り)	QF16ジョイント用継手					
電気関係 電源	AC100V					
電気関係 消費電力W(50/60Hz) 待機時	2.0		2.5		2.0	
電気関係 消費電力W(50/60Hz) 最大時	55/70		110/140		110/140	
電気関係 消費電力W(50/60Hz) 凍結予防運転時	10(凍結予防ヒータのみ) 80(凍結予防運転時最大)		12(凍結予防ヒータのみ) 150(凍結予防運転時最大)			
安全装置	立消え安全装置 空だき安全装置 空だき防止装置 沸騰防止装置 過熱防止装置 過電流安全装置 ファン回転検出装置 漏電安全装置 凍結予防装置 停電安全装置 誘導留保護装置					

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

●能力表

135-9030型

使用ガス / 使用ガスグループ		1時間当たりのガス使用量:kW ( )内はkcal/h
都市ガス用	13A	7.21(6,200)
都市ガス用	12A	6.74(5,800)
LPガス用		7.21(0.52kg/h)

135-R910型

使用ガス / 使用ガスグループ		1時間当たりのガス使用量:kW ( )内はkcal/h
都市ガス用	13A	6.96(6,000)
都市ガス用	12A	6.48(5,600)
LPガス用		6.96(0.50kg/h)

135-R900型・135-R903型

使用ガス / 使用ガスグループ		1時間当たりのガス使用量:kW ( )内はkcal/h
都市ガス用	13A	14.5(12,500)
都市ガス用	12A	13.5(11,600)
LPガス用		14.5(1.04kg/h)

135-R920型

使用ガス / 使用ガスグループ		1時間当たりのガス消費量:kW ( )内はkcal/h
都市ガス用	13A	14.0(12,000)
都市ガス用	12A	13.1(11,200)
LPガス用		14.0(1.00kg/h)

135-R923型

使用ガス / 使用ガスグループ		1時間当たりのガス消費量:kW ( )内はkcal/h
都市ガス用	13A	14.0(12,000)
都市ガス用	12A	13.1(11,200)

アフターサービスについて

■アフターサービス（点検・修理など）を依頼される前に

- 12・13ページの「故障！とお考えになる前に」「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
  確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓、給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて（分電盤の専用スイッチを「切」にして）から、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
  1. ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印など）
  2. 品　名…135-R920・R923・R900・R903・R910・9030型
     （品名は機器のフロントカバーに張ってある銘板の下部に書いてあります）
  3. 現　象…できるだけ詳しく
  4. 訪問ご希望日

■転居または機器を移設される場合

- ガスには都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整は専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 設備場所の選定にあたっては運転音や振動が大きく伝わらないよう場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

■保証について

- この機器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、暖房専用熱源機の故障について修理いたします。
  詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので、大切に保管してください。
- 凍結による故障の場合は保証期間内であっても有料となりますのでご注意ください。
- 自然災害（虫や小動物・雑草などの侵入など）による故障は、保証期間内でも有償修理となりますのでご承知おきください。

■修理用性能部品の保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- この機器の修理用性能部品の保有期間は製造打切後10年です。その後の修理は、修理用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。ただし、保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

■アフターサービスなどの連絡先

- お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 別添の「大阪ガスのお問い合わせ先」を参照してください。

MEMO